

学会・シンポジウム情報

Algae 2002 開催のお知らせ

2002年は、日本藻類学会が設立されてから50年目にあたります。この節目の年の日本藻類学会大会は、50周年記念行事およびアジア太平洋藻類学フォーラムと合同で開催することが決定されています。開催地はつくば市、会期は2002年7月19日より24日までの6日間です。この合同会議を機に、アジア太平洋諸国の藻類研究者の交流を深めるとともに、藻類研究が更に発展することを期待します。特に、学生および若手研究者の国際交流は藻類研究の将来にとってきわめて重要と考えられます。皆様のご参加をお願いいたします。以下に開催計画の概要をお知らせいたします。なお、詳細および更新内容は上記URLに随時掲載してまいります。また和文誌「藻類」にも順次掲載いたします。

1. 会議正式名称

第26回日本藻類学会大会・日本藻類学会50周年記念行事・第3回アジア太平洋藻類学フォーラム合同会議

A Joint Conference of the 26th annual congress of the Japanese Society of Phycology (JSP), the 50th anniversary and the 3rd Asian Pacific Phycological Forum (APPF)

会議呼称：Algae 2002

2. Algae 2002 関連委員会

第26回日本藻類学会大会・日本藻類学会50周年記念行事実行委員会(大会会長 渡辺真之, 実行委員長 堀口健雄)

第3回アジア太平洋藻類学フォーラム実行委員会(委員長 In Kyu Lee)

Algae 2002 実行委員会
(委員長 井上 勲, 庶務幹事 河地正伸)

3. 会期

2002年7月19日(金)～7月24日(水)

4. 会場

独立行政法人 産業技術総合研究所(旧名:通産省工業技術院)(つくば市)共用講堂(大会, 講演会, ポスター, 懇親会)

5. 会議概要

(1) 主催: 日本藻類学会, アジア太平洋藻類学連合(Asian Pacific Phycological Association: APPA)

(2) 会議の構成: 50周年記念公開シンポジウム, 50周年記念行事, 日本藻類学会総会, APPA総会, 基調講演, シンポジウム, 若手コンペティション, ポスター発表, 企業展示, エクスカーション

(3) 会員からはポスター発表(JSP, APPFとも)と若手コンペティション(後述)を募集します

(4) 言語

Algae 2002合同会議期間を通して、使用言語は英語を基本としますが、JSP(発表)に応募したポスターに関しては、英語タイトル、図表に英文説明を併記すれば、日本語でも可とします。シンポジウム、若手コンペティションは英語です。

(5) シンポジウム

JSPとAPPFの区別はなく、期間を通して共同で開催します。実行委員会で企画しているシンポジウムの分野は以下の通りですが、この他、公募によるシンポジウムを予定しています。シンポジウムを企画される方は、後述のシンポジウム課題募集要領に従って申し込んでください。

- ・カルチャーコレクション
- ・赤潮
- ・有毒藍藻
- ・天然有機物化学
- ・生態学
- ・生物地理学
- ・分類学・系統進化
- ・応用藻類学

(6) 若手コンペティション (Best Student Paper Competition)

APPF期間中に開催される、若手研究者を対象にしたコンペティションで、優秀と認められた発表に賞が贈られます。コンペティションへの参加資格は、学生または2002年7月20日の時点で学位取得から1年以内であること。参加は本人の申請によるものとし、APPF会期中に設けられたセッションにおいて口頭で発表してもらいます。参加希望者は予備登録または最終登録時にその旨明記してください。

(7) ベストポスター賞 (Best poster presentation award)

APPFに発表されたポスターのうち優秀なものに贈られます。APPFで発表されたすべてのポスター発表は自動的にベストポスター賞選考の対象となります。

(8) 主要日程

2002年7月19日(金): JSP編集委員会, JSP評議員会, 50周年記念公開シンポジウム

7月20日(土): 基調講演, JSPポスター, 50周年記念行事, 50周年記念パーティー

7月21日(日): 基調講演, JSPポスター, シンポジウム

7月22日(月): 基調講演, APPFポスター, シンポジウム, 若手コンペティション

7月23日(火): APPFポスター, シンポジウム, エクスカーション(半日ツアー), 懇親会

7月24日(水): 基調講演, APPFポスター, シンポジウム

(9) エクスカーション

- つくば市内, 近辺の見学ツアー
- ・地質標本館
- ・科学博物館筑波実験植物園
- ・国土地理院
- ・宇宙開発事業団筑波宇宙センター
- ・茨城県自然博物館
- その他を検討しています。

6. 大会参加費

50周年記念行事とJSP(7/19~7/21)のみ参加:

15,000円(学生10,000円)(50周年記念パーティー代を含む)

全期間: 30,000円(学生15,000円)
(50周年記念パーティー代と懇親会費を含む)

7. 大会までのスケジュール

2001年7月: 大会案内(1)(藻類第49巻第2号, ホームページ), シンポジウム課題募集, 予備登録開始

2001年11月: 大会案内(2)(藻類第49巻第3号, ホームページ), 予約参加, 大会発表申込受付開始

2002年1月10日: 大会発表申込締切・シンポジウム課題募集締切

2002年3月28日: 大会発表要旨締切

2002年3月: 最終大会案内(大会プログラム, その他)のお知らせ(藻類第50巻第1号, ホームページ)

2002年5月31日: 予約参加申込締切

2002年7月19日~24日: Algae 2002 合同会議

8. 連絡先・大会事務局

〒305-8506 茨城県つくば市小野川16-2
国立環境研究所 Algae 2002 事務局 河地正伸
電話: 0298-50-2345 fax: 0298-50-2577
e-mail: algae02@nies.go.jp

9. ホームページ

大会に関する最新の情報を以下のURLを通じて閲覧できるようにしますので、ご参照ください。

<http://www-sp2000ao.nies.go.jp/algae2002/index.html>

10. シンポジウム課題募集

実行委員会企画のシンポジウムのほか、参加者の提案によるシンポジウムを募集しています。シンポジウムタイトル、シンポジウムの趣旨、世話人、予定講演題目および講演者案を大会事務局にご連絡ください。実行委員会で選考し、採択の可否をお知らせします。

11. 予備登録

参加登録、発表申込み用紙のpdfファイルは大会ホームページからダウンロードできます。

栃木県立博物館第69回企画展
『海の森からのメッセージ』のご案内

今回、海無し県からの逆発信として『海の森からのメッセージ』と題した企画展が2001年7月15日(日)から9月2日(日)まで栃木県立博物館で開催されます。

展示の構成は以下の通り。

1. 海藻は美しい
2. 豊かな日本の海藻
3. 海藻の親子関係
4. 海藻のいろいろ
5. 北の海藻・南の海藻
6. 大切な海中の森
7. 海藻アートの世界

実物標本や生態写真等が多数展示されます。是非ご覧下さい。この展示を通し、特に海藻の素晴らしさや大切さを理解していただき、地球環境の保全の重要性を再認識するきっかけになればと考えています。なお期間中、下記の記念講演会と講座が実施されますのでご参加下さい。

記念講演会「海の森からのメッセージ」

期 日：平成13年8月5日(日)
午後1時30分-3時30分
場 所：栃木県立博物館講堂
栃木県宇都宮市睦町2-2

講演者及び演題：

川嶋昭二(元北海道立函館水産試験場場長)
「北の海のコンブの仲間たち」
横浜康継(宮城県志津川町自然環境活用センター長)「カラフルな海藻たちは語る」
野田三千代(海藻デザイン研究所代表)「海藻と友達になろう」

定 員：200名 受講料：無料
申込み：電話で普及資料課 028-634-1312

関連講座 「海藻おしばを楽しむ(1)(2)」

期 日：(1)平成13年7月15日(日)
(2)平成13年7月22日(日)
同じ内容を(1)(2)の2回実施
いずれも午後1時30分-3時30分
場 所：栃木県立博物館研修室
栃木県宇都宮市睦町2-2

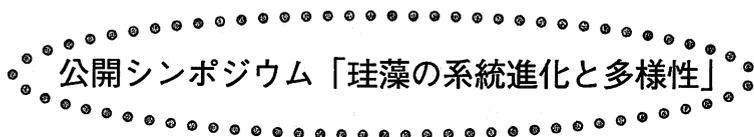
講 師：野田三千代(海藻デザイン研究所代表)

定 員：各30名 受講料：無料
申込み：電話で普及資料課 028-634-1312

問合先：栃木県立博物館
TEL 028-634-1311(代)

(栃木県立博物館学芸部自然課 福田廣一)





公開シンポジウム「珪藻の系統進化と多様性」

近年、珪藻研究の分野では古生物学的視点からの詳細な研究データと、生細胞における新しい視点からの研究データが蓄積されつつあり、系統進化研究における新たな展開が期待されています。日本珪藻学会では下記の要領で珪藻の系統進化と多様性に関する公開シンポジウムを開催します。今まで珪藻に縁の遠かった方をはじめ、さまざまな分野の方のご参加をお待ちしています。

日時：2001年10月20日（土）13:00 - 17:00

場所：東京学芸大学附属図書館
3階AVホール

講演プログラム

13:00 - 13:10 はじめに

13:10 - 13:50

黄色藻類の多様性と珪藻の起源
本多大輔（甲南大）

13:50 - 14:30

化石記録と殻形態から復元される海生珪藻の系統進化
柳沢幸夫（産業技術総合研）

14:30 - 15:10

殻の形態形成の過程からみた珪藻の系統進化
真山茂樹（東京学芸大）

15:10 - 15:20 休憩

15:20 - 16:00

ケイ質微細構造からみた *Thalassiosira*
rifulta group の北西太平洋における系統進化
塩野正道（北海道大）

16:00 - 16:40

増大胞子（有性生殖）からみた珪藻の系統について
出井雅彦（文教大）

16:40 - 17:00 総合討論

本公開シンポジウムは日本珪藻学会第21回研究集会の一環として開催され、珪藻学会会員以外の方の参加費は1000円です。シンポジウム終了後、東京学芸大学構内「むさしのホール」で予定されている懇親会には、どなたでも参加できます（懇親会費6000円）。

*会場への道順：JR中央線武蔵小金井駅下車、北口より京王バス小平団地行き乗車（10分）学芸大正門下車、徒歩4分

問合先：〒184-8501 小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学生物学教室 真山茂樹
TEL. 042-329-7524
E-mail: mayama@u-gakugei.ac.jp

2001年度「藻類談話会」のお知らせ

「藻類談話会」は藻類を研究材料とする幅広い分野の研究者の集まりで、西日本を中心に講演会や研究交流を行っています。今年度は以下の講演を企画しています。ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時：2001年11月10日（土）13：00-17：00

場所：甲南大学 平生記念セミナーハウス
〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町2-29-15
電話：078-854-1605 FAX：078-845-7543

講演予定（敬称略）

長里千香子（北大・北方生物圏セ）：

褐藻植物の細胞分裂－中心体の働きに焦点をあてて

山中理央・中村薫（京大・化研）：

藻類を利用した光学活性化化合物の合成
大塚泰介（琵琶湖博物館）：

珪藻群落の季節変動の解析

永瀬裕康（阪大院・薬）：

微細藻類を利用した環境浄化

長崎慶三（水産総合研究セ・瀬戸内海区水研）：

有害赤潮藻とウイルス－赤潮はなぜ消える？

参加費：500円（通信費など）

談話会終了後、セミナーハウス内で懇親会を行います（会費：一般3,500円、学生1,500円）。

また、希望者は当日セミナーハウスに宿泊できます（宿泊費1,500円、要申込）。ゆっくりと議論できる二次会を準備する予定です。

談話会および懇親会の参加希望者、宿泊希望者は10月24日（水）までに電子メールかファックスで下記の宛先へお申し込みください（当日参加も可）。また最新情報は下記ホームページに適宜、掲示しますのでご覧ください。

*会場への道順

阪急御影駅より、六甲山を背面にして南へ下り、中央に緑地帯を持つ4車線道路「山手幹線」に沿って東へ歩く（徒歩約7分）。

JR住吉駅より、六甲山に向かうように北へ登り、「山手幹線」に沿って西へ歩く（徒歩約7分）。

会場周辺の略図は、下記ホームページをご覧ください。

参加申込・問合先

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
京都大学総合人間学部自然環境学科
幡野恭子

TEL：075-753-6854 FAX：075-753-6864

e-mail：hatano@bio.h.kyoto-u.ac.jp

2001年度藻類談話会ホームページ <http://members.tripod.co.jp/dhonda/algae/index.html>